

クレオパ

シリーズ～弟子道～

2011/5/29

ルカ福音書24章12節～35節

しかし、ペトロは立ち上がって墓へ走り、身をかがめて中をのぞくと、亜麻布しかなかったので、この出来事に驚きながら家に帰った。

ちょうどこの日、二人の弟子が、エルサレムから六十五スタディオン離れたエマオという村へ向かって歩きながら、この一切の出来事について話し合っていた。

話し合い論じ合っていると、イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。しかし、二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった。イエスは、「歩きながら、やり取りしているその話は何のことですか」と言われた。二人は暗い顔をして立ち止まった。

その一人のクレオパという人が答えた。「エルサレムに滞在していながら、この数日そこで起こったことを、あなただけではご存じなかったのですか。」イエスが、「どんなことですか」と言われると、二人は言った。「ナザレのイエスのことです。この方は、神と民全体の前で、行いにも言葉にも力のある預言者でした。それなのに、わたしたちの祭司長たちや議員たちは、死刑にするため引き渡して、十字架につけてしまったのです。わたしたちは、あの方こそイスラエルを解放してくださると望みをかけていました。しかも、そのことがあってから、もう今日で三日目になります。ところが、仲間の婦人たちがわたしたちを驚かせました。婦人たちは朝早く墓へ行きましたが、遺体を見つけずに戻って来ました。そして、天使たちが現れ、『イエスは生きておられる』と告げたと言うのです。

わたしたちは、あの方こそイスラエルを解放してくださいと望みをかけていました。しかも、そのことがあってから、もう今日で三日目になります。ところが、仲間の婦人たちがわたしたちを驚かせました。婦人たちは朝早く墓へ行きましたが、遺体を見つけずに戻って来ました。そして、天使たちが現れ、『イエスは生きておられる』と告げたと言うのです。仲間の者が何人か墓へ行ってみたのですが、婦人たちが言ったとおりで、あの方は見当たりませんでした。」

そこで、イエスは言われた。「ああ、物分かりが悪く、心が鈍く預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち、メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るはずだったのではないか。」

そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。一行は目指す村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうとされる様子だった。二人が、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから」と言って、無理に引き止めたので、イエスは共に泊まるため家に入られた。一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。

そして、時を移さず出発して、エルサレムに戻ってみると、十一人とその仲間が集まって、本当に主は復活して、シモンに現れたと言っていた。二人も、道で起こったことや、パンを裂いてくださったときにイエスだと分かった次第を話した。

逃げ出した弟子たち

- クレオパら2人は12使徒ではないが、イエス様に従っていた弟子であった
- エルサレムまで同行し、おそらく最後の晩餐やゲツセマネの祈りにも帯同した
- しかし、イエス様が十字架にかけられ、殺されたために、エルサレムを逃げ出した
 - ー 彼らはイエス様の墓が空っぽであったことを知っていたのに、エルサレムに留まることを恐れた

共に歩まれたイエス様

- 彼らは議論しながらエマオに向かっていた
 - －なぜイエス様は殺されたのか
 - －自分たちはどうすべきだったのか
 - －このまま逃げて良いものか などなど
- 復活されたイエス様は旅人を装い近づいた
 - －彼らはイエス様だとは思わず気づかなかった
 - －彼らが何を議論しているのか尋ねられた
 - －彼らはイエス様の死を悲しみ、残念に思っていた

教えられるイエス様

- クレオパらは師を正しく理解していなかった
 - － 行いにも言葉にも力のある預言者
 - － イスラエルを解放してくださる(救い主／メシア)
 - － イエス様が復活したと信じられなかった
- イエス様は彼らの誤解を嘆きながらも、聖書を通して教えられた
 - － 「物分かりが悪く、心が鈍く」「信じられない者」
 - － 「メシアは苦しみを受けて、栄光に入るはずだった」ということを聖書全体から教えられた

再びエルサレムへ！

- 先に行こうとするイエス様を引き留めた
 - －この旅人に不思議な魅力を感じた
 - －パンを裂かれる姿を見てイエス様だと気づいた
 - 手に釘の痕？最後の晚餐を思い出した？
 - －「わたしたちの心は燃えていたではないか」
- エルサレムに戻ったクレオパたち
 - －「時を移さず出発して、エルサレムに戻っ」た
 - －ほかの弟子たちに感動の再会を語った

イエス様の教育

- 私たちが気づかないだけで、イエス様はいつも共に歩いておられる
 - － 私たちが神の国から離れないように
- イエス様をどう信じ、何を期待しているか尋ねておられる
 - － イエス様を失望させないように
- 聖書の中にすべての答えはある！
 - － 心の耳を開いて聖書からイエス様の声を聞こう
- 復活の主を信じ、逃げず、恐れず戦う

「二人は、『道で話しておられるとき、また聖書を説明してくださったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか』と語り合った。

そして、時を移さず出発して、エルサレムに戻ってみると、十一人とその仲間が集まって、本当に主は復活して、シモンに現れたと言っていた。